

2021 年度 環境経営レポート

(対象期間: 2020 年11月1日～2021 年10月31日)



TOMOE

巴興業株式会社

company brochure

発行日 : 2022年3月25日

改訂日 : 2022年6月14日

目 次

項 目	ページ
①組織の概要	2～6
②対象範囲(認証・登録範囲)、レポートの対象期間及び発行日	7
③環境経営方針	8
④環境経営目標	9
⑤環境経営計画	9～10
⑥環境経営計画に基づき実施した取組内容	10
⑦-1環境経営目標の実績	11～12
⑦-2環境経営計画の取組結果とその評価	13
⑦-3次年度の環境経営目標及び環境経営計画	13
⑧環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無	14
⑨代表者による全体の評価と見直し・指示	14



①組織の概要

(1) 名称及び代表者名

巴興業株式会社
代表取締役社長 塩谷 俊明

(2) 所在地

- ・本社・中日本営業所 愛知県みよし市打越町生賀山35番地5
- ・東日本営業所 埼玉県さいたま市南区白幡4丁目29番地12号M2ビル
- ・西日本営業所 大阪府大阪市北区本庄東1丁目1番10 ライズ88ビル 501号室
- ・西南営業所 福岡県福岡市博多区博多駅南4丁目2番10 南近代ビル9F
- ・本社工場 愛知県みよし市打越町池下29番地の2 (工業専用地域)
- ・山口工場(認証対象外) 山口県美祢市美東町真名西山756番地113



(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者	管理部長	石川 元	TEL:0561-34-3171
担当者	管理部	五十君 匡哉	TEL:0561-34-3171

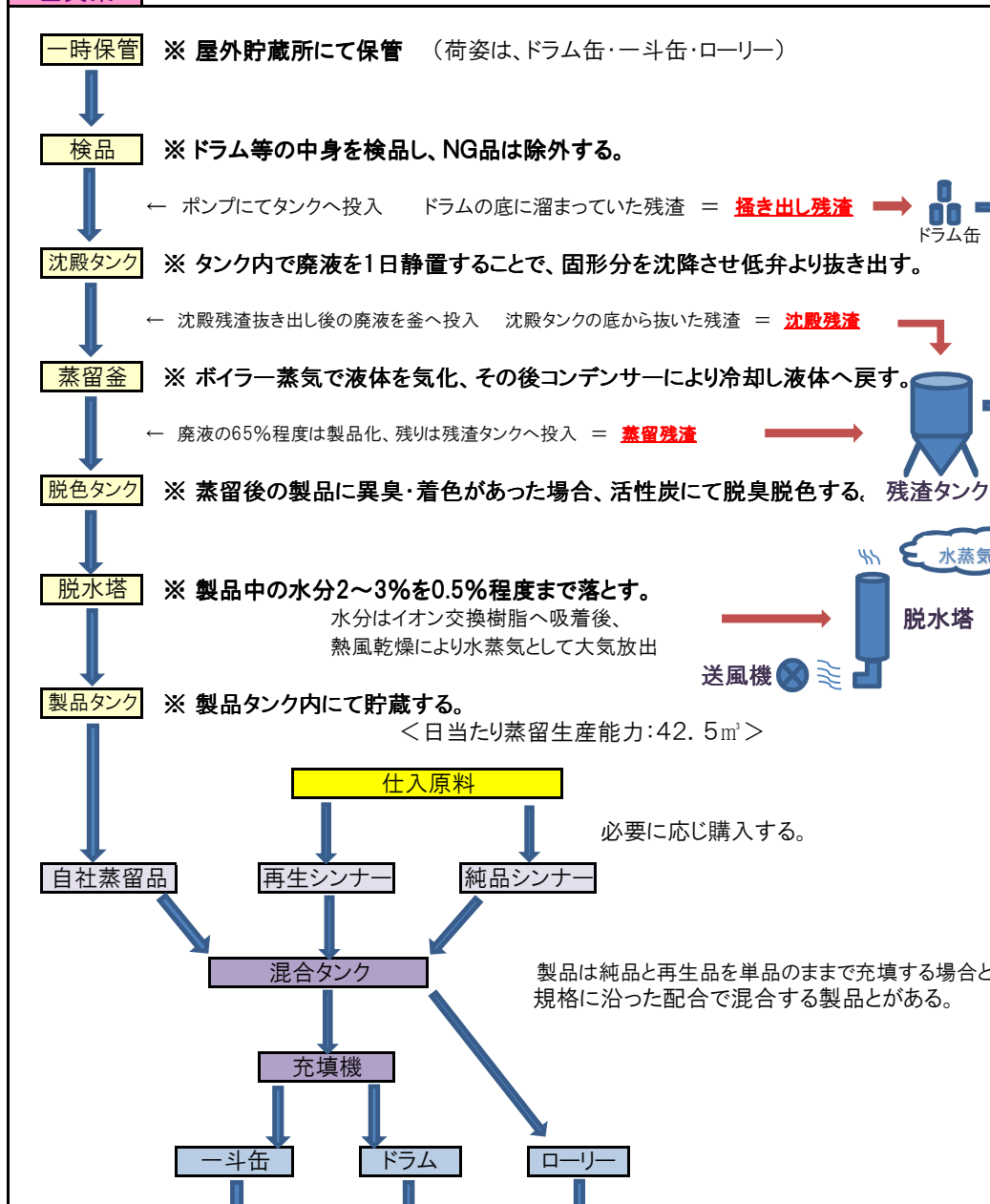
(4) 事業内容

- ・産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の収集運搬及び中間処分
- ・再生・純品シンナーの製造並びに販売

□処理フロー

排出事業者
↓
巴興業

← 自社または備車のトラックにて排出先から回収



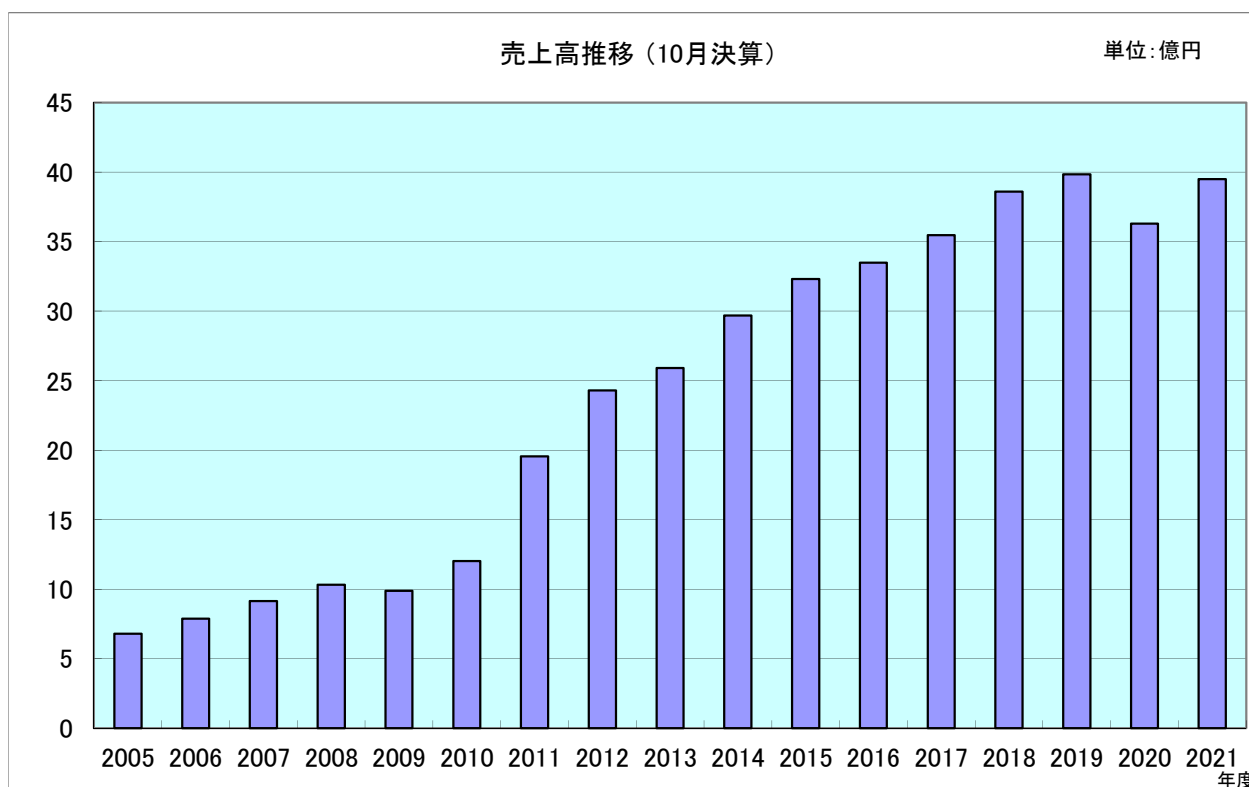
巴興業 処理工程排出物

掻き出し残渣 → 焼却後 ⇒ 埋め立て 泥状の残渣物は産業廃棄物として処理委託

沈殿残渣
蒸留残渣 → 混合エマルジョン燃料 沈殿残渣、蒸留残渣は残渣タンクへ送り品質チェックの上
有価物としてサーマル燃料として売却

(5) 事業の規模

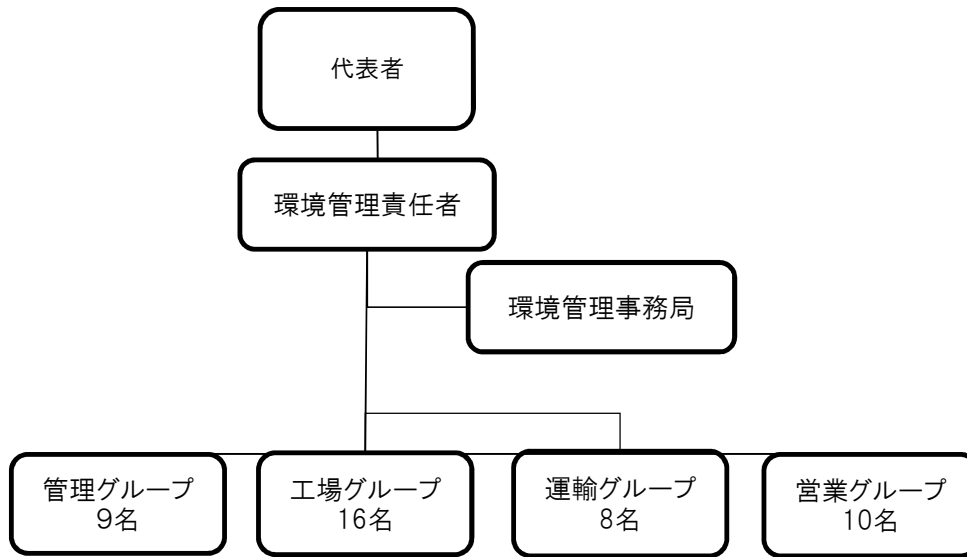
- ・設 立 1959年11月7日
- ・売上高 395,174万円(2021年度)
- ・資本金 5,000万円
- ・収集運搬車両 種類 台数
 - ・平ボディ 9 台
 - ・タンクローリー 1 台
- ・収集運搬量 5,613 t (産廃扱い分)
- ・中間処理量 5,781 t (産廃扱い分)
- ・従業員 50人(2021年10月31日現在)
- ・敷 地 2,277m2(自社所有)、6,450 m2(借地)中日本営業所含む



□処理実績 2021年度 実績(2020.11~2021.10)

廃液処理量(有価含む)	11,624t
再生量	8,798t
中間処理後の産業廃棄物焼却処分量	319t
サーマル燃料化(有価物)	2,507t

□実施体制



役割	責任・権限
代表者(社長) 代表取締役 塩谷 俊明	<ul style="list-style-type: none"> ・経営における課題とチャンスの明確化 ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命など実施体制の構築 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画を承認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者 管理部 部長 石川 元	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、運用、維持 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画を確認 ・環境経営結果の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局 管理部 チーフ 五十君 匡哉	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、環境委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画原案の作成 ・環境経営計画の実績集計 ・環境関連法規など取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規など取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□許可の内容

①処分業

	特別管理産業廃棄物処分業	産業廃棄物処分業
許可番号	愛知県 第02370003818号 優良認定	愛知県 第02320003818号 優良認定
許可年月日	2017年5月8日	2017年5月8日
有効期限	2024年5月7日	2024年5月7日
廃棄物の種類	引火性廃油	廃油
事業の範囲	中間処分(蒸留)	
処理施設の種類	単蒸留塔及び精留塔によるリボイラー加熱真空方式	
処理能力	42.5m ³ /日 (産廃処理能力)	
処理料金	200Lトラム:別途見積(廃液の性状による)	

②収集運搬業

・施設の概要:普通貨物自動車9台

(i)特別管理産業廃棄物収集運搬業 2021年度(2020.4~2021.3 収集運搬実績)
(引火性廃油)

許可先	許可番号	許可年月日	許可の有効期限	運搬実績
愛知県	02350003818	平成29年3月3日	平成36年3月2日	1,997.5 t
三重県	02450003818	平成30年5月25日	平成35年5月24日	526.3 t
京都府	02650003818	平成28年11月6日	平成38年11月5日	23.0 t
滋賀県	02551003818	平成30年6月30日	平成35年6月29日	604.9 t
静岡県	02251003818	平成30年7月24日	平成35年7月23日	493.9 t
岐阜県	02150003818	平成30年6月8日	平成35年6月7日	135.2 t
大阪府	02750003818	平成30年6月22日	平成35年6月21日	430.5 t
長野県	2059003818	平成30年8月11日	平成35年8月10日	150.8 t
石川県	01753003818	平成30年7月29日	平成35年7月28日	152.6 t
福井県	1851003818	平成30年9月30日	平成35年9月29日	2.2 t
和歌山県	03050003818	平成28年10月10日	平成38年10月9日	204.8 t
富山県	01653003818	平成28年11月6日	平成38年11月5日	234.2 t
兵庫県	02854003818	平成30年6月6日	平成35年6月5日	62.4 t
山梨県	01950003818	平成29年10月29日	平成34年10月30日	87.0 t

優良認定

(ii)産業廃棄物収集運搬業
(廃油・廃プラスチック類)

許可先	許可番号	許可年月日	許可の有効期限	運搬実績
愛知県	02300003818	平成29年3月3日	平成36年3月2日	3.4 t
三重県	02400003818	平成30年11月21日	平成35年11月20日	273.2 t

優良認定

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2019年度	2020年度	2021年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	1,012,295	1,353,989	1,319,117
受託収集運搬量	トン	5,981	6,295	5,613
受託中間処理量	トン	5,813	6,121	5,781
廃棄物排出量	kg	6,247	14,017	6,205
一般廃棄物排出量	kg	4,916	7,461	5,955
産業廃棄物排出量	kg	1,331	6,556	250
水使用量	m ³	6,690	6,347	8,082

※二酸化炭素排出係数 0.426 kg-CO₂/kWh 中部電力ミライズ(株)の2019年度調整後排出係数

②対象範囲(認証・登録範囲)、レポートの対象期間及び発行日

組織

本社・中日本営業所

東日本営業所

西日本営業所

西南営業所

本社工場

対象外組織

・山口工場 山口県美祢市美東町真名西山756-113
(山口工場は 2022年11月から対象範囲に拡大予定)

活動

従業員数(対象者) 43 人(2021年10月31日現在、対象者)

対象期間

2020年11月～2021年10月

発行日 2022年3月25日

改訂日 2022年6月14日



③環境経営方針

<企業理念>

巴興業株式会社は、循環型社会形成の実現に向け廃溶剤のリサイクルをベースに環境負荷を継続的に削減し、限られた資源を有効活用するための独自の再生技術を追求め新しい価値を創造する。

<環境保全への行動指針>

巴興業株式会社は、特別管理産業廃棄物の収集運搬および再生加工を促進することで、資源を有効利用し、環境保全に配慮した環境マネジメントシステムを自主的かつ積極的に推進する。

- 1 当社の活動、製品、サービスがかかわる環境負荷とその影響を認識し、環境保全、維持活動の継続的改善と環境汚染の予防に努める。
- 2 環境経営方針遂行にあたり、環境関連法規およびその要求事項に基づき、環境経営目標を設定し、取組み、実行し、定期的に見直しを図りつつ、環境マネジメントシステムの継続的な改善に努める。
- 3 環境マネジメントシステムの遂行において、環境負荷の抑制にあたり以下の課題に重点的に取り組む。
 - ① CO2ガス排出量の削減⇒化石燃料(重油、軽油、ガソリン)及び電気使用量の削減
 - ② 特別管理産業廃棄物(残渣)及び一般廃棄物の削減又は有効利用
 - ③ 水の使用量の削減
 - ④ 工場内外の環境美化に取り組む
- 4 環境経営方針は、全従業員に教育訓練を通じて周知徹底させるとともに、取引先および社外の人にも理解と協力を求める。

制定日：2012年11月1日

改定日：2019年10月25日

愛知県みよし市打越町生賀山35番地5

巴興業株式会社

代表取締役社長 塩谷 俊明

④環境経営目標

項目	年度	基準値	2021年度	2022年度	2023年度
		(基準年)	(目標)	(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減 ※1	kg-CO2	224,138	219,655	203,966	201,724
	基準年度比	2020年	98%	91%	90%
都市ガスによる二酸化炭素削減	kg-CO2	439,766	430,971	360,608	356,211
	基準年度比	2020年	98%	82%	81%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	549,240	538,256	527,271	521,778
	基準年度比	2020年	98%	96%	95%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	1,213,187	1,188,923	1,091,885	1,079,753
一般廃棄物の削減	kg	7,457	7,084	6,935	6,711
	基準年度比	2020年	95%	93%	90%
リサイクル率	%	75%	74%	73%	72%
	基準年度比	2020年	99%	97%	96%
水道水の削減	m ³	10,408	10,303	10,095	9,991
	基準年度比	2020年	99%	97%	96%
工場内外の環境美化に取り組む	行動目標(次項による)				

※1 中部電力ミライズ(株) 2019年度の調整後排出係数0.426(kg-CO2/kWh)を使用

○ LPGの使用量もあるが僅少量のため目標数値を設けません(二酸化炭素排出量合計には含めます)

○ 当社は事業として化学物質の処理または再生を行っているため、その削減量を目標として設けません

⑤環境経営計画

方針	環境経営目標 (方針に掲げた取組項目は必ず挙げる) (負荷の自己チェックで特定した項目)	目標達成手段 (取組の自己チェックで◎をつけた項目)	責任部門 責任者 (担当者)	備考欄 (取組スケジュール等)
二酸化炭素排出量削減	電力による二酸化炭素削減 基準年度実績 50,617 kWh 2020年 181,145 kg-CO2 使用する二酸化炭素排出係数: 0.426 kg-CO2/kWh 2020年度目標 基準年度比 98% 増減率 -2.0% 目標値 177,522 kg-CO2 49604.7 kWh 2021年度目標 164,842 91% 2022年度目標 163,030 90%	・空調温度の適正化(冷房26℃ 暖房22℃) ・不要照明の消灯 ・生産工程の待機時間短縮	管理部 五十君	1~4月、冷房温度の管理 6~9月、暖房温度の管理 点検月(11月、2月、5月、8月) 7月調査、8月検討、9月改善
	都市ガスによる二酸化炭素削減 基準年度実績 19,390 m ³ 2020年 398,256 kg-CO2 使用する二酸化炭素排出係数 2.16 2020年度目標 基準年度比 98% 増減率 -2.0% 目標値 390,291 kg-CO2 19,002 m ³ 2021年度目標 326,570 82% 2022年度目標 322,587 81%	・ボイラ・加熱炉の空気比 ・蒸気・温水配管の保温修理 ・温水温度の適正化	管理部 五十君	点検月(2月、7月) 点検月(11月、2月、5月、8月) 7月調査、8月検討、9月改善
	自動車燃料による二酸化炭素削減 基準年度実績 2020年 ガソリン 41,486 ℓ 軽油 128,159 ℓ 426,898 Kg-CO2 使用する二酸化炭素排出係数: kg-CO2/L ガソリン 2.32 軽油 2.58 2020年度目標 基準年度比 98% 増減率 -2% 目標値 418,360 Kg-CO2 2021年度目標 409,822 96% 2022年度目標 405,553 95%	・アイドリングストップ ・効率的なルートで配送 ・エリア別営業活動の見直し	運輸 寺田	随時、取組を実施 随時、取組を実施 随時、取組を実施

方針	環境経営目標 (方針に掲げた取組項目は必ず挙げる) (負荷の自己チェックで特定した項目)	目標達成手段 (取組の自己チェックで◎をつけた項目)	責任部門 責任者 (担当者)	備考欄 (取組スケジュール等)
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減 基準年度実績 2020年 4,487 kg 2020年度目標 基準年度比 95% 増減率 -5% 目標値 4,263 kg 2021年度目標 4,173 93% 2022年度目標 4,038 90%	・分別の徹底 ・シュレッダー廃紙のリサイクル化 ・帳票見直しによる印刷物の削減 ・梱包材の再利用	管理部 五十君	随時、取組を実施 11月業者変更済 6月見直し 随時、取組を実施
	受託廃棄物のリサイクル率の向上 基準年度実績 2020年 74.8% 目標 2021年度目標 75.3% 2022年度目標 75.8% 2023年度目標 76.3%	・収率向上のための工夫を推進 ・廃液残渣分の凝集沈殿の促進 ・脱臭および脱色技術の向上 ・蒸留生産手順の変更・トライ ・蒸留中の廃液観察と突沸の防止	管理部 石川	検討月(1月、4月、7月、10月)
水使用量削減	水道水の削減 基準年度実績 2020年 4,738 m ³ 2020年度目標 基準年度比 99% 増減率 -1% 目標値 4,691 m ³ 2021年度目標 4,596 97% 2022年度目標 4,549 96%	・稼動していない時はドレパルプを締め、量水計の監視強化 ・クーリングタワーの点検、整備を定期的に行う ・冬季の凍結対策として垂流しを止め循環方式に変更	工場長 坂田	随時、取組を実施 随時、取組を実施 随時、取組を実施
	工場内外の環境美化に取り組む	・作業終了後 清掃、整理、整頓を実施する ・事務所入り口の靴の汚れ落としの励行 ・毎週金曜日に環境美化を実施	工場長 坂田	随時、取組を実施 随時、取組を実施 随時、取組を実施

⑥環境経営計画に基づき実施した取組内容

数値目標: ○達成 ×未達成

電力による二酸化炭素削減	達成状況
数値目標	×
・空調温度の適正化(冷房26℃ 暖房22℃)	△
・不要照明の消灯	×
・生産工程の待機時間短縮	×

都市ガスによる二酸化炭素削減	達成状況
数値目標	×
・ボイラ・加熱炉の空気比	△
・蒸気・温水配管の保温修理	×
・温水温度の適正化	×

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況
数値目標	○
・アイドリングストップ	△
・効率的なルートで配送	○
・エリア別営業活動の見直し	○

一般廃棄物の削減	達成状況
数値目標	×
・分別の徹底	×
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	×
・帳票見直しによる印刷物の削減	×
・梱包材の再利用	×

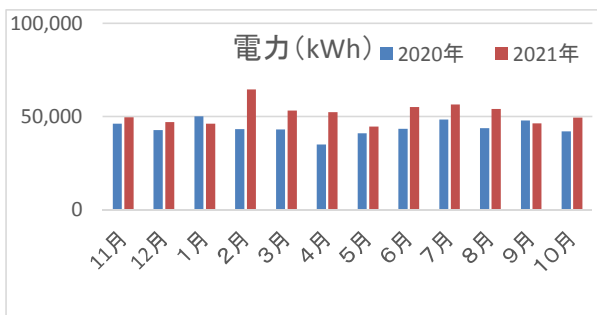
リサイクル率の向上	達成状況
数値目標	○
・廃液残渣分の凝集沈殿の促進	○
・脱臭および脱色技術の向上	△
・蒸留生産手順の変更・トライ	△
・蒸留中の廃液観察と突沸の防止	○

水道水の削減	達成状況
数値目標	○
・稼動してない時はドレンバルブを締め、量水計の監視強化	△
・クーリングタワーの点検、整備を定期的に行う	○
・冬季の凍結対策として垂流しを止め循環方式に変更	○

工場内外の環境美化に取り組む	達成状況
数値目標	-
・作業終了後 清掃、整理、整頓を実施する	○
・事務所入り口の靴の汚れ落としの励行	○
・毎週金曜日に環境美化を実施	○

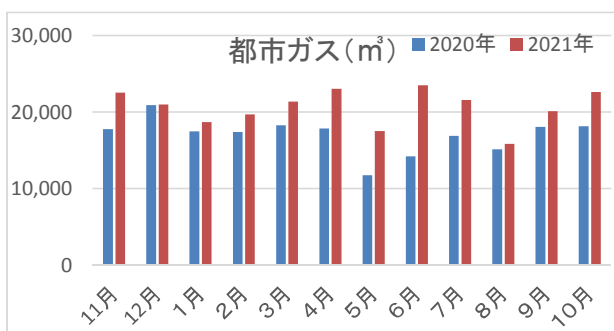
⑦-1環境経営目標の実績

電力(kWh)	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
2020年	46,110	42,627	50,022	43,140	43,049	34,946	40,954	43,337	48,389	43,671	47,875	42,024	526,145
2021年	49,570	46,911	46,037	64,431	53,114	52,341	44,540	54,952	56,375	54,045	46,193	49,409	617,918



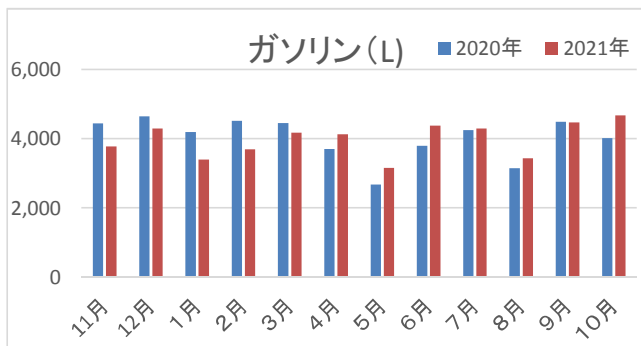
	基準値 (基準年)	2021年度 (目標)	2021年度 (実績)
kWh	526,145	515,623	617,918
基準年度比	2020年	98%	117%

都市ガス(m³)	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
2020年	17,740	20,875	17,474	17,358	18,234	17,829	11,730	14,194	16,869	15,108	18,061	18,123	203,596
2021年	22,543	20,991	18,678	19,658	21,345	23,010	17,517	23,486	21,546	15,806	20,097	22,589	247,267



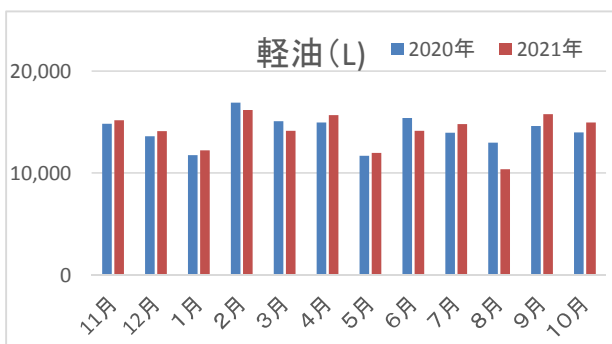
	基準値 (基準年)	2021年度 (目標)	2021年度 (実績)
m³	203,596	199,524	247,267
基準年度比	2020年	98%	121%

ガソリン(L)	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
2020年	4,442	4,638	4,184	4,508	4,450	3,695	2,673	3,787	4,242	3,140	4,488	4,016	48,261
2021年	3,772	4,287	3,390	3,693	4,174	4,125	3,155	4,375	4,288	3,431	4,467	4,668	47,825



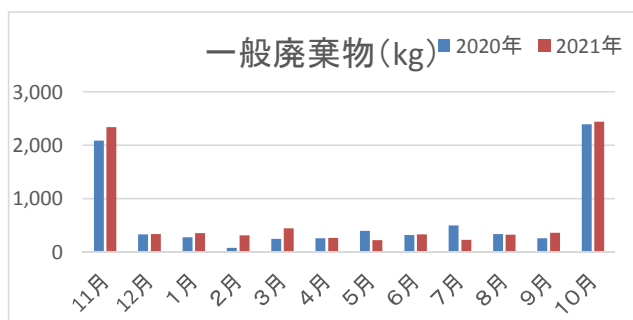
	基準値 (基準年)	2021年度 (目標)	2021年度 (実績)
L	48,261	47,296	47,825
基準年度比	2020年	98%	99%

軽油(L)	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
2020年	14,828	13,595	11,756	16,908	15,083	14,944	11,687	15,408	13,950	12,972	14,609	13,966	169,706
2021年	15,180	14,105	12,205	16,175	14,122	15,686	11,962	14,145	14,811	10,358	15,781	14,957	169,486



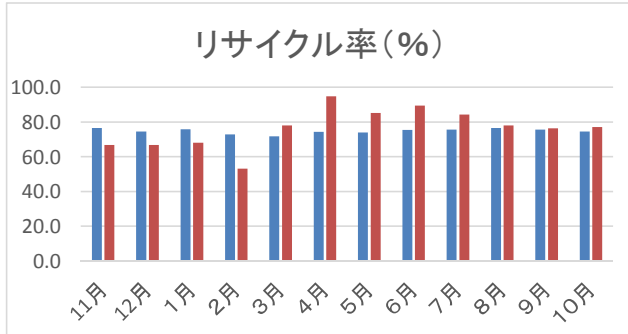
	基準値 (基準年)	2021年度 (目標)	2021年度 (実績)
L	169,486	166,097	159,223
基準年度比	2020年	98%	94%

一般廃棄物 (kg)	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
2020年	2,088	329	274	78	245	254	395	316	494	334	258	2,392	7,457
2021年	2,340	335	350	310	440	265	220	330	225	325	360	2,440	7,940



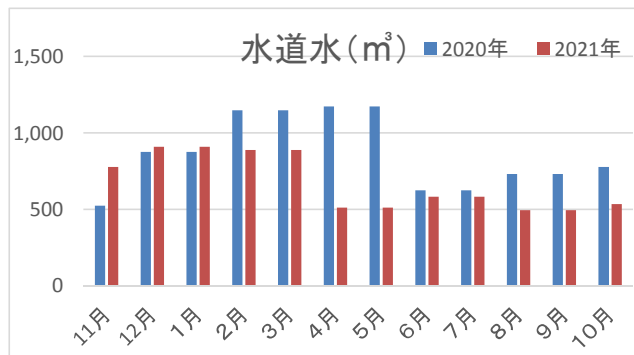
	基準値 (基準年)	2021年度 (目標)	2021年度 (実績)
kg	7,457	7,087	7,940
基準年度比	2020年	95%	106%

リサイクル率 (%)	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
2020年	76.6	74.6	75.8	72.9	71.7	74.3	74.0	75.5	75.5	76.6	75.7	74.4	74.8
2021年	66.7	66.7	68.1	53.2	78.0	94.8	85.2	89.4	84.3	78.0	76.3	77.0	75.7



	基準値 (基準年)	2021年度 (目標)	2021年度 (実績)
%	74.8	75.5	75.7
基準年度比	2020年	101%	101%

水道水 (m ³)	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
2020年	525	877	877	1,149	1,149	1,173	1,173	624	624	731	731	777	10,408
2021年	777	910	910	889	889	510	510	583	583	494	494	534	8,082



	基準値 (基準年)	2021年度 (目標)	2021年度 (実績)
m ³	10,408	10,303	8,082
基準年度比	2020年	99%	78%

⑦-2環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標: ○達成 ×未達成

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	夜間作業の時間が伸びたため、電力使用量が増加してしまいました。 来年度の取組みとして ①不要な照明の消灯(休憩時、使用しない部屋の消灯) ②エアコン温度管理(設定温度:夏26℃、冬22℃) ③不使用時、パソコン、プリンター、ホットの電源を切る。
・空調温度の適正化(冷房26℃ 暖房22℃)	△	
・不要照明の消灯	×	
・生産工程の待機時間短縮	×	

都市ガスによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	設備故障の影響もあり、数値目標を達成することができませんでした。 来年度の取組みとして ①ボイラ・加熱炉の空気比 ②蒸気・温水配管の保温修理 ③温水温度の適正化
・ボイラ・加熱炉の空気比	△	
・蒸気・温水配管の保温修理	×	
・温水温度の適正化	×	

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	継続的な取組みを試み、数値目標を達成することができました。
・アイドリングストップ	△	来年度の取組みとして
・効率的なルートで配送	○	①アイドリングストップの実施(看板を構内に設置)
・エリア別営業活動の見直し	○	②急発進、急加速、空ふかしを自粛する。
		③タイヤ点検をこまめにし交換する。

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	本年度より排出先の変更及び、分別の強化を図ったが管理数量として増加してしまつた。来年度の取組みとして
・分別の徹底	×	①紙類(新聞紙、コピー紙、その他紙、ダンボール):分別回収する
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	×	②印刷紙:裏表印刷をする(月間使用枚数のチェック)
・帳票見直しによる印刷物の削減	×	③メモ用紙:コピー紙以外の紙を使用する(使用済み集計用紙など)
・梱包材の再利用	×	

受託廃棄物のリサイクル率の向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	継続的に残渣分の沈殿促進および蒸留の突沸防止を行つていくことにより数値目標を達成することができました。
・廃液残渣分の凝集沈殿の促進	○	来年度の取組みとして
・脱臭および脱色技術の向上	△	①脱臭および脱色の設備的、技術的な向上により製品ロスの低減
・蒸留生産手順の変更・トライ	△	②蒸留工程の見直し
・蒸留中の廃液観察と突沸の防止	○	

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	設備の老朽化による不具合にて、水道水の使用量が増加してしまつていたが、2021年3月時点修繕済。以降目標を達成することができました。来年度の取組みとして
・稼動してない時はトレンバルブを締め、量水計の監視強化	△	①蛇口の閉め忘れをなくす(節水の張り紙を貼る)
・クーリングタワーの点検、整備を定期的に行う	○	②稼動してない時はトレンバルブを締め、量水計の監視強化
・冬季の凍結対策として垂流しを止め循環方式に変更	○	

工場内外の環境美化に取り組む	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・作業終了後 清掃、整理、整頓を実施する	○	継続的な取組みを実施することができました。
・事務所入り口の靴の汚れ落としの励行	○	来年度は更なる意識向上に努めます。
・毎週金曜日に環境美化を実施	○	

⑦-3次年度の環境経営目標及び環境経営計画

・環境経営目標 … 2021年度基準で環境経営目標を作成し、数値目標が達成できるよう全社で取り組みます。

・環境経営計画 … 従来の環境経営計画を継続して取り組みます、今期数値目標の未達成項目である一般廃棄物については、処分業者を変更し、社内のゴミの分別意識の向上を図る。水道水の削減についても、設備の修繕を実施し、毎月の漏洩チェックを実施することにより、ともに来期の目標数値のクリアを目指します。

⑧環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無
 法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物の適正処理
廃棄物の適正な処理の促進に関する条例	委託した産業廃棄物の処理等
県民の生活環境にの保全に関する条例	ばい煙発生施設の届出、測定等
悪臭防止法	事故時の処置(市町村長通報)
大気汚染防止法	ばい煙発生施設
浄化槽法	浄化槽 保守点検・清掃
消防法	危険物の貯蔵、取扱の制限
PRTR法	対象物質の移動量登録
高圧ガス保安法	転倒防止、バルブ開閉
フロン排出抑制法	フロン漏れ点検の実施
毒・劇物取締法	製造業、一般販売業の登録
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	運搬車の外側に産業廃棄物の収集又は運搬車であることを表示す

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
 なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

⑨代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2022年3月25日

今年度の目標である水使用量、ガソリン使用量の2項目の削減については達成することができました。
 電力使用量の削減、都市ガス使用量の削減、一般廃棄物(可燃ごみ等)の削減については残念ながら達成できませんでした。
 環境に配慮した収集運搬については問題ありません。

当社は原料廃液の変動により温室効果ガス排出及び蒸留再生に係る産業廃棄物が大きく影響を受けやすい業種にあるなか、平成21年度からの設備投資に伴い廃棄物の削減、エネルギー使用量の削減の取り組みを行ってきました。また、山口工場の運転も軌道に乗り、昨年12月には設備増設を実施しました。今後の取組として山口工場のエコアクション21の拡大を視野にいれていきます。引き続き社員1人ひとりが二酸化炭素排出量の削減等、環境への自覚を持って行動してください。

環境経営方針 変更なし 変更あり
 従来の取り組み実施の継続

環境経営目標・計画 変更なし 変更あり
 従来の取り組み実施の継続

実施体制 変更なし 変更あり
 出向者及び入社・退社の都度、組織を見直した

2022年3月25日
 巴興業株式会社
 代表取締役社長 塩谷 俊明